

PHILIPS

ヘッドホン

Fidelio T1



取扱説明書

で製品を登録し、サポートを受けてください

www.philips.com/support

コンテンツ

1	安全上のご注意	2
	聴覚への影響	2
	一般注意事項	2

2	トゥルーワイヤレスイヤースフ オン	3
	付属品	3
	その他のデバイス	3
	トゥルーワイヤレスイヤースに ついて	4

3	はじめに	5
	バッテリーの充電	5
	装着方法	6
	初めてBluetooth対応機器を イヤースとペアリングする	6
	イヤースを他のBluetooth対応 機器とペアリングする場合	7

4	イヤースを使用する	8
	イヤースをBluetooth対応機器 に接続する	8
	ANC(アクティブノイズキャンセリング) のコントロール	8
	電源オン/オフ	9
	通話と音楽の管理	9
	音声アシスタント	9
	音声アシスタント機能を使用する (Google Appを使用)	9
	イヤース/充電ケースLED表示 のステータス	10

5	イヤースをリセットする	11
---	-------------	----

6	製品仕様	11
---	------	----

7	通知	12
	適合宣言	12
	使用済み製品とバッテリー の廃棄について	12
	内蔵バッテリーの取り外し	12
	EMFの順守について	13
	環境への配慮	13
	対応基準について	13

8	商標	15
---	----	----

9	よくあるご質問	16
---	---------	----

1 安全上のご注意

聴覚への影響



⚡ 危険

- 耳を守るために、大音量でヘッドフォンを長時間続けて聞くことを避け、音量を上げすぎないようにご注意ください。音量が大きすぎると、安全に聞ける時間が短くなります。

ヘッドフォンを使用するときは、必ず以下のガイドラインを守ってください。

- 適切な音量で、適切な時間だけ試聴してください。
- 耳が慣れてくるため、長時間高い音量に合わせたままにしないように注意してください。
- 周囲の音が聞こえないほど音量を高くしないでください。
- 危険な状況下では、慎重に使用するか、一時的に使用を中止してください。
- イヤーピースやヘッドフォンからの過度な音圧は聴覚障害を引き起こす可能性があります。
- 運転中に両耳をふさがれたヘッドフォンを使用することは推奨されておらず、一部の地域では違法となる場合があります。
- 安全のため、交通機関や危険が予想される環境にいるときは、音楽や電話に気を取られないようにしてください。

一般注意事項

損傷や不具合を避けるために：

⚠ 注意

- ヘッドフォンを高温に晒さないでください。
- ヘッドフォンを落とさないでください。
- ヘッドフォンに水滴や水がかからないようにしてください。(特定の商品のIP定格を参照してください)
- ヘッドフォンを水の中に入れてください。
- コネクタまたはソケットが濡れている場合は、ヘッドフォンを充電しないでください。
- アルコール、アンモニア、ベンゼン、研磨剤を含む洗浄剤は使用しないでください。
- 清掃が必要な場合は、柔らかい布で拭いてください。必要に応じて、少量の水または薄めた中性洗剤で湿らせ柔らかい布で、製品を手入れしてください。
- 内蔵バッテリーは、日光、火災等の高温に晒さないようにしてください。
- 電池の交換に誤りがある場合爆発の危険性があります。同じまたは同等のタイプのみで置換してください。
- 特定のIP定格を達成するには、充電スロットカバーを閉じておく必要があります。
- 電池を火や高温のオープンに捨てたり、機械に押しつぶされたり切断したりすると、爆発する可能性があります。
- 極端に高い温度環境に電池を放置すると、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる可能性があります。
- 極端に低い気圧にさらされた電池は、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる恐れがあります。

使用・保管時の温度・湿度

- 温度が-20°C(-4°F) ~ 50°C(122°F)の範囲内で使用または保管してください。(最大90%の相対湿度)。
- 温度が0°C(32°F) ~ 45°C(113°F)の範囲内で使用または保管してください。(最大90%の相対湿度)。
- バッテリーの寿命は、高温または低温の条件下で短くなる場合があります。
- 誤ったタイプの電池に交換すると、ヘッドフォンと電池に損傷を与える深刻なリスクをもたらします(例えば一部リチウム電池タイプの場合)。

2 トゥルー ワイヤレス イヤープース

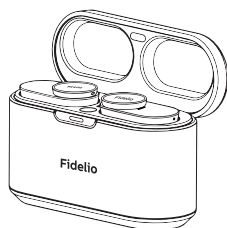
この度はご購入頂きありがとうございます。
フィリップスへようこそ!フィリップスが提供
するサポートをすべてご利用いただくには、
お客様の製品を

www.philips.com/support からご登録い
ただく必要があります。

Philips完全ワイヤレスイヤープースは次の
ようにご利用いただけます:

- ・ ハンズフリーでワイヤレスによる便利な
通話
- ・ ワイヤレスで音楽を楽しみながら管理
- ・ 通話と音楽の切り替え

付属品



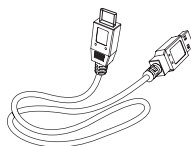
Philips True Wirelessイヤープース
Philips T1



Comply™ Foam Tips x 3 ペア



交換可能な イヤーチップカバー x 6 ペア



USB-C充電ケーブル(充電のみ)



クイックスタートガイド



海外保証

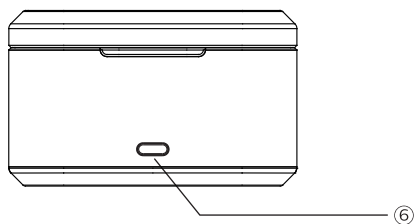
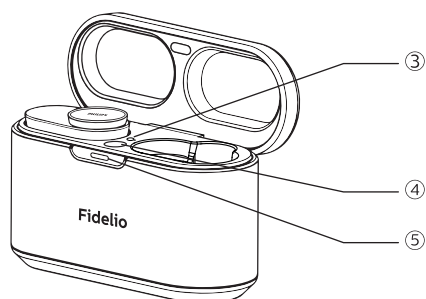
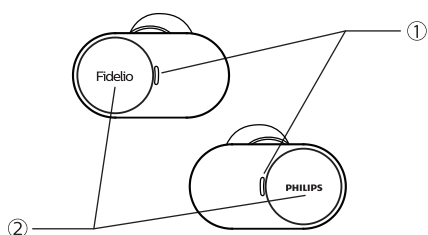


安全説明書

その他のデバイス

スマートフォンやBluetooth対応のデバイ
ス(例:ノートパソコン、タブレット、
Bluetoothアダプタ、MP3プレイヤーなど)
はイヤープースと互換性があります。

お使いの Bluetooth ワイヤレスイヤークース の概要



- ① LED表示(イヤークース)
- ② 多機能タッチボタン
- ③ LED インジケータ (BT ペアリングおよびファクトリーリセット)
- ④ Bluetoothペアリングボタン
- ⑤ LED インジケータ (バッテリーの状態または充電状態)
- ⑥ USB充電スロット

3 はじめに

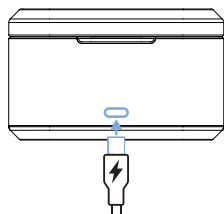
バッテリーの充電

※ 注釈

- 初めてヘッドフォンを使用する前に、イヤークリップを充電ケースに入れて2時間充電することで、バッテリーの容量と寿命を最適化します。
- 損傷を避けるため、本製品付属のUSB-C充電ケーブルのみ使用してください。
- 充電する前に通話を終了してください。イヤークリップを充電するために接続すると電源がオフになります。

充電ケース

USB-Cケーブルの一端を充電ケースに、もう一端を電源に接続します。



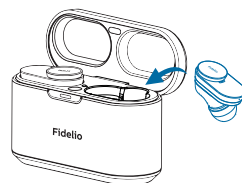
※ ヒント

- 充電ケースは、イヤークリップを充電する携帯用バックアップバッテリーとして使えます。充電ケースが完全に充電されると、イヤフォンを3回フル充電します。

イヤークリップ

イヤークリップを充電ケースに収納してください。

- イヤークリップが充電を開始し、青いLEDが点灯します
- イヤークリップが完全に充電されると、白色のライトが消えます



※ ヒント

- 通常、(イヤークリップまたは充電ケースの)USBケーブルでの完全充電には2時間かかります。

ワイヤレス充電

充電ケースにはワイヤレス充電コイルが内蔵されています。ワイヤレス充電器またはワイヤレス充電器として機能する別のデバイスを使用して充電することができます。

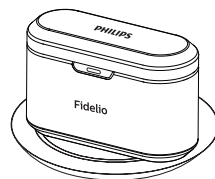
⚠ 注意

ワイヤレス充電の注意事項

- 充電ケースとワイヤレス充電器の間に金属物や磁石などの導電性物質が入っている場合は、充電ケースをワイヤレス充電器の上に置かないでください。
- 充電ケースを高温や水に近づけないでください。充電中にケースが温まることがあります。これは通常のことです。

ワイヤレス充電器でのバッテリー充電

- イヤークリップを充電ケースに収納してください
- 充電ケースのカバーを閉じます
- 充電ケースの中心をワイヤレス充電器の中心に置きます。
- 充電が完了したら、充電ケースをワイヤレス充電器から外します



※ ヒント

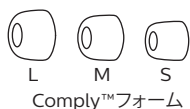
- ワイヤレス充電ではフル充電に4時間かかります。

装着方法

最適なフィット感のために適切なイヤーチップを選択してください

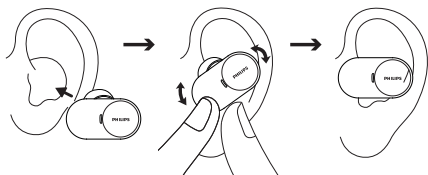
タイトでしっかりフィット感は、最高の音質とノイズキャンセリングを提供します。

- 1 どのイヤーチップが最高のサウンドと快適な装着感を得られるか確かめてください。
- 2 3つのサイズのComply™フォームイヤーチップカバーと他の5つのサイズの交換可能なイヤーチップカバーが用意されています:XL、L、M、S、XS、



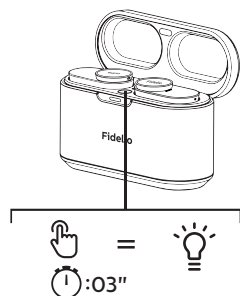
イヤークリップを挿入します

- 1 右左いずれかの向きのイヤークリップをチェックしてください
- 2 イヤークリップを耳に挿入し、しっかりフィットするまで少しひねってください。



初めてBluetooth対応機器をイヤークリップとペアリングする

- 1 ヘッドセットが満充電状態で、電源がオフになっていることを確認します。
- 2 充電ケースのカバーを開いてください。ペアリングボタンを約3秒間長押しします。



- ↳ 両方のイヤークリップのLEDが白色と青色で交互に点滅します。
- ↳ イヤークリップはペアリングモードになり、Bluetooth対応機器(例えばスマートフォン)とペアリングする準備ができました

- 3 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
- 4 イヤークリップをBluetooth対応機器とペアリングします。Bluetooth対応機器の取扱説明書を参照してください。

注釈

- 電源を入れた後、イヤークリップが以前に接続されたBluetooth対応機器を検出できない場合は、自動的にペアリングモードに切り替わります。

次の例でイヤークリップをBluetooth対応機器とペアリングする方法を示します。

- 1 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにして、**Philips T1**を選択します。
- 2 求められた場合は、イヤークリップのパスワード「0000」(0が4つ)を入力します。Bluetooth 3.0以降を搭載したBluetooth対応機器の場合は、パスワードを入力する必要はありません。



Philips T1

片耳イヤークリップ(モノラルモード)

片耳で使用する場合、充電ボックスから左右どちらかのイヤークリップを取り出してください。自動的にイヤークリップの電源が入ります。イヤークリップが「Power on」という声が聞こえます。

注釈

- 充電ケースから2番目のイヤークリップを取り出すと、イヤークリップ同士が自動的にペアリングされます。

イヤークリップを他のBluetooth対応機器とペアリングする場合

イヤークリップと もう一つの Bluetooth デバイスをペアリングする場合は、ペアリングモードに切り替えると(両方のイヤークリップを中に入れカバーを開いてボックスのボタンを3秒間押します)、ノーマルペアリングごとに第2のデバイスが見つかります。

注釈

- イヤークリップはメモリに対応機器を4台記録できません。4個以上の対応機器とペアリングする場合、最初にペアリングされた対応機器が新しい対応機器に置き換わります。

4 イヤーピースの使い方

イヤーピースをお使いのBluetooth対応機器に接続する

- 1 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
- 2 充電ケースのカバーを開けます。
 - ↳ 青色のLEDが点滅
 - ↳ イヤーピースは、最後に接続したBluetooth対応機器を検索し、自動的に再接続します。最後に接続した機器が使用できない場合、イヤーピースは最後から2番目に接続した機器を検索して再接続します。

✳ ヒント

- イヤーピースをオンにした後でお使いのBluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにする場合は、機器のBluetoothメニューに移動して、イヤーピースを機器に手動で接続する必要があります。

☰ 注釈

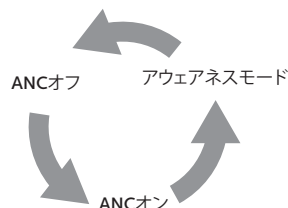
- 3分以内にイヤーピースがBluetooth対応機器に接続できない場合、バッテリーを節約するため自動的に電源がオフになります。
- 一部のBluetooth対応機器では、自動的接続が行われない場合があります。その場合、お使いの対応機器のBluetoothメニューに移動し、手動でイヤーピースを接続する必要があります。
- Bluetoothを接続しても60分間シグナル(音楽/通話)が受信されない場合は、イヤーピースはバッテリーを節約するため自動的にオフになります。

ANC (アクティブノイズ軽減)のコントロール

ANCの有効化

右イヤーピースをダブルタップすることでいくつかのANCモードに切り替えることができます。

- ANC機能はイヤーピースを装着すると自動的にアクティブ化されます
- MFTを2回タッチすると、アウェアネスモードに切り替わります
- MFTを2回タッチすると、ANC機能がオフになります



✳ ヒント

- イヤーピースを取り外すと、自動的にスリープモードになります。イヤーピースを戻すと、アクティブモードに戻ります。

タスク	多機能ボタン	操作
ANCオン	右イヤーピース	ダブルタップ
アウェアネスモード	右イヤーピース	ダブルタップ
ANCオフ	右イヤーピース	ダブルタップ
クイック認識	右イヤーピース	ビーブ音が鳴った後もタッチし続ける

電源オン/オフ

タスク	マルチフ アंकショ ンタッチ	操作
イヤーク ス電源オン		イヤーク スを充電ケ ースから取り出 すと電源がオ ンになる
イヤーク スの電源をオフ にします		イヤーク スを充電ケ ースに戻すと電源 がオフになる

通話と音楽の管理

音楽のコントロール

タスク	マルチフ アंकショ ンタッチ	操作
音楽の再生/ 一時停止	右イヤーク ピース	タップして1秒間 長押しする
次の曲	右イヤーク ピース	3回タップする
音量の調節 +/-		スマートフォ ンで調節する

通話のコントロール

タスク	マルチフ アंकショ ンタッチ	操作
応答する/通話 中に通話相手 を切り替える	右イヤーク ピース	ダブルタップ
電話を切る/電 話を拒否する	右イヤーク ピース	タップして1秒 間長押しする

音声アシスタント

タスク	ボタン	操作
トリガーボイス (Siri/Google) アシスタント	左イヤーク ピース	タップした まま2秒長 押しする
音声アシスタ ントの停止	左イヤーク ピース	シングルタ ップ

音声アシスタント機能を使用 する(Google Appを使用)

この機能を使用する前に、Google App をお使いの Android スマートフォンに挿入してください。

注釈

- 最新バージョンのアプリが必要である場合があります。
- Google App の詳細については 操作説明 または Android スマートフォンのサポート対象のウェブサイト または Google Playストアのウェブサイトを参照してください。
- Android スマートフォンの仕様により Google App はイヤークピースからアクティブ化されない場合があります。

タスク	マルチフ アंकショ ンタッチ	操作
Google 音声 アシスタントを トリガ	左イヤーク ピース	通話中にタ ップを続行 する
Google 音声 アシスタントを キャンセル	左イヤーク ピース	シングルタ ップ
通知を聞く	左イヤーク ピース	ダブルタ ップ

イヤークリップ LED表示のステータス

イヤークリップステータス	表示
イヤークリップはBluetooth対応機器に接続されています	白色のLEDは5秒毎に点滅します
イヤークリップのペアリングするスタンバイが来ています	LEDが青色と白色で交互に点滅します
イヤークリップがオンになっていますが、Bluetooth対応機器に接続されていません	白のLEDは1秒毎に点滅します (3分後に自動電源オフ)
電池残量低下 (イヤークリップ)	青色のLEDは5秒毎に2回点滅します
充電完了 (充電ケース)	ケースLEDを参照してください

充電ボックスのステータス表示LED

充電中	表示
電池残量が少なくなっています	琥珀色のLEDが点灯します
割と適切な電池	白色のLEDが点灯します
使用中でカバーが開いています	表示
電池残量が少なくなっています	琥珀色が4サイクルゆっくり点滅します
割と適切な電池	消灯します

5 イヤーピースのリセット

ペアリングまたは接続に問題が発生した場合は、次の手順に従って工場出荷時の値にイヤーピースをリセットできます。

- 1 Bluetooth対応機器で、Bluetoothメニューに移動して、Philips T1をデバイスリストから削除します。
- 2 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオフにします。
- 3 イヤーピースを充電ボックスに戻してふたを開きます。
- 4 ボックスのボタンを2回押してください。
- 5 「イヤピースを使う - イヤピースをBluetoothデバイスに接続する」の手順に従ってください。
- 6 Bluetooth デバイスでイヤーピースをペアリングして**Philips T1**を選択してください。

イヤピースから反応がない場合、以下の手順に従ってイヤピースのハードウェアをリセットできます。

- 多機能タッチを10秒以上長押しします。

6 製品仕様

- 音楽祭時間 (ANC on): 9 + 25 時間
- 音楽再生時間 (ANC off): 13 + 35 時間
- 待機時間: 200 時間
- 充電時間: 2 時間
- リチウムポリマー電池55mAh (各イヤピース)、リチウムポリマー電池600mAh (充電ケース)
- Bluetooth バージョン: 5.2
- 対応 Bluetooth プロファイル:
 - HFP (ハンズフリープロファイル)
 - A2DP (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)
 - AVRCP (オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)
- サポート対象のオーディオコーデック: LDAC, AAC, SBC
- 周波数範囲: 2.402~2.480 GHz
- 伝送出力: 10dBm未満
- 操作可能範囲: 最高 10 メートル (33 フィート)
- 自動電源オフ
- 充電用USB-Cポート
- ワイヤレス充電
- バッテリー残量低下警告: あり

注釈

- 仕様は予告なく変更されることがあります。

7 お知らせ

適合宣言

これにより、MMD Hong Kong Holding Limitedは、この製品が指令2014/53/EUの必須要件及びその他の関連規定に適合していることを宣言します。適合宣言は www.p4c.philips.com からご確認ください。

使用済み製品とバッテリーの廃棄



本製品はリサイクルおよび再利用が可能な高品質の材料およびコンポーネントを使用し、設計および製造されています。



製品に表示されているこの記号は、その製品が欧州指令2012/19/EUの対象であることを意味します。



この記号は、製品には欧州指令2013/56/EUの適用を受ける内蔵充電式バッテリーが含まれているため、一般廃棄物として廃棄できないことを意味します。充電式バッテリーを専門業者に取り外してもらうために、製品を正式な回収センターまたはフィリップスのサービスセンターに持ち込むことを強くお勧めします。

電気・電子製品と充電式バッテリーの地域別回収システムについてお知らせします。地域のルールに従い、一般廃棄物と一緒に製品と充電式バッテリーを廃棄しないでください。古い製品や充電式バッテリーを適切に廃棄することで、環境や健康への悪影響を防ぐことができます。

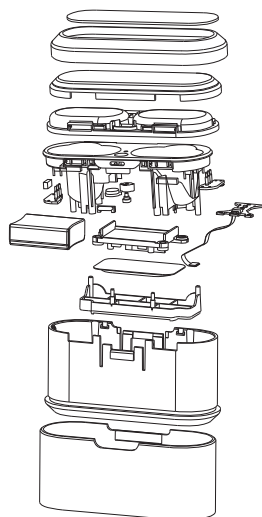
内蔵バッテリーの取り外し

お客様の国に電子製品の回収・リサイクルシステムがない場合、イヤピースを廃棄する前にバッテリーを取り外してリサイクルすることで環境保護ができます。

- バッテリーを取り外す前に、イヤピースが充電ケースから外れていることを確認してください。



- バッテリーを取り外す前に、充電ケースがUSB充電ケーブルから外れていることを確認してください。



EMFのコンプライアンス

本製品は、電磁界への曝露に関しては該当するすべての規格および規制に準拠しています。

環境情報

不要な梱包はなくしました。段ボール(箱)、発泡スチロール(緩衝液)、ポリエチレン(袋、保護フォームシート)に分別しやすい梱包を心がけました。

本製品は、専門会社によって解体された場合リサイクルおよび再利用できる材料で作られています。梱包材料、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄については、各地域の条例に従ってください。

コンプライアンスに関するお知らせ

FCC 規則、パート15に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。

1. このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。
2. このデバイスは、あらゆる干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

FCC規則

本装置は、テストの上、FCC規則の15部に準拠するクラスBデジタル機器の限度に適合していることが明らかにされています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉からの妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、マニュアルに従って取り付けや使用を行わないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

しかしながら、特定の設置条件において、干渉が発生しないことは保証されません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は(装置の電源を入れたり切ったりすることで判別できます)、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

- ・受信アンテナの方向または場所を変えます
- ・装置と受信機の距離を離します。
- ・装置は、受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続してください
- ・サポートについては、ディーラーまたは経験豊富なラジオ/TV技術者に相談してください

FCCの放射線被曝に関する記述:

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCCの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機を他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

注意: 法令等遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を行った場合、お客様の操作権限が無効になる可能性があるのをご注意ください。

カナダ:

このデバイスには、カナダのイノベーション・科学経済開発省ライセンス免除 RSSに準拠するライセンス免除送信機/受信機が含まれます。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。(1)この機器は有害な干渉を引き起こすことはありません。(2)このデバイスは、あらゆる干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

ICの放射線被曝に関する記述：

この装置は、管理されていない環境に対して定められたカナダの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機を他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

8 商標

Bluetooth

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited はライセンス契約に基づいてかかるマークを使用しています。その他の商標および商標名は各所有者に帰属します。

Siri

Siriは米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

Google

Google、Google PlayはGoogle LLCの商標です。

9 よくあるご質問

使用しているBluetoothイヤークラスの電源が入りません。

電池残量が少なくなっています。イヤークラスを充電してください。

使用しているBluetooth対応機器とBluetoothイヤークラスをペアリングできません。

Bluetoothが無効になっています。イヤークラスをオンにする前に、Bluetooth対応機器のBluetooth機能を有効にし、Bluetooth対応機器の電源を入れてください。

ペアリングがうまくできません。

- 両方のイヤークラスを充電ケースに入れます。
- 以前に接続したBluetooth対応機器のBluetooth機能が無効になっていることを確認します。
- お使いのBluetooth対応機器で、Bluetoothリストから「Philips T1」を削除します。
- ヘッドセットをペアリングします(6ページの「初めてイヤークラスをBluetooth対応機器とペアリングする」を参照)。

Bluetooth対応機器でイヤークラスを見つかりません。

- イヤークラスが以前にペアリングされたデバイスに接続されている可能性があります。その接続されているデバイスの電源を切るか、電波の届かない場所に移動させてください。
- ペアリングがリセットされたか、イヤークラスが既に他のデバイスに接続されている可能性があります。ユーザーマニュアルの取扱説明書に従って、イヤークラスとBluetooth対応機器を再度ペアリングします。(6ページの「初めてBluetooth対応機器にヘッドセットをペアリングする」を参照)。

BluetoothイヤークラスがBluetoothステレオ対応のスマートフォンに接続されているが、音楽はスマートフォンのスピーカーでしか再生されません。

お使いのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。イヤホンを通じて音楽を聴く設定をご確認ください。

音質が悪く、音飛びやノイズがあります。

- Bluetooth対応機器が電波の届く範囲から外れています。イヤークラスとBluetooth対応機器間の距離を短くするか、間にある障害物を取り除きます。
- イヤークラスを充電してください。

スマートフォンからのストリーミングが非常に遅い場合、またはオーディオストリーミングがまったく機能しない場合、音質が低下します。

お使いのスマートフォンが(mono)HSP/HFPだけではなく、A2DPにも対応しており、BT4.0x(または以上)と互換性があることを確認してください(11 ページ目の「製品仕様」を参照)。



アプリのダウンロード

QRコードをスキャンするか、「ダウンロード」ボタンを押すか、あるいはApple App StoreまたはGoogle Playで「Philips Headphones」と検索してアプリをダウンロードしてください。



2021 © MMD Hong Kong Holding Limited.著作権所有仕様は予告なく変更されることがあります。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されます。本製品は、MMD Hong Kong Holding Limitedまたはその関連会社の責任の下に製造および販売されており、MMD Hong Kong Holding Limitedが本製品に関する保証を担当します。その他の会社名および製品名は、それぞれの関連会社の商標である可能性があります。

